

福島イノベーション・コースト構想における人材育成の取り組みについて

福島イノベーション・コースト構想推進機構

教育・人材育成部

3つの柱+1

1 高校への支援（指定校9校）

(1) トップリーダーの人材育成

磐城、相馬、原町高校 〔実施例 福島ロボットテストフィールドの見学 相馬高校〕

(2) 農業・水産分野の人材育成

磐城農業、相馬農業、いわき海星高校

cf イノベトマト、イノ弁当（相農版）、（磐農・海星版）

〔実施例 福島県水産資源研究所の見学 いわき海星高校〕

(3) 工業分野の人材育成（地元企業への就職促進） ← 商工労働部

平工業、勿来工業、川俣高校（小高産業技術高校）

〔実施例 JAEA 櫛葉遠隔技術開発センターの見学 平工業高校〕

主な内容

講演会、出前授業、企業・研究施設等の見学、実習

企業紹介（地元定着）

※コロナ禍での対応・・・YouTubeで企業紹介動画公開

生徒の学習の機会を増やし、視野を広げ、刺激となって高い意識を持つきっかけ

→ 課題探究学習・体験的な活動との親和性極めて高い

(4) 広域連携校18校・・・高校教育課との連携

会津・中通りの農・工・商の専門高校対象

イノベの教育プログラム（知見）を中通り、会津へ波及させる

2 大学等への支援

2018～2020の「復興知事業」

県内外の大学等が自治体・企業・高校などと連携して教育研究活動を実施

2020年度17大学23事業

企業・・・農業法人、JA、商工会等

〔実施例 新規作物ペピーノの定植作業 東京農業大学〕

会津大×南相馬

3 小中学校への支援（事務局として支援）

- (1) 双葉郡8町村・・・地域の「ひと」、「もの」、「こと」を題材に8町村が連携して探究的な学習「ふるさと創造学」の実施を支援
〔実施例「ふるさと創造学サミット」、「双葉郡中高生交流会」開催〕
今年度・・・Webにより双葉生徒会連合の会議等を実施

- (2) 避難地域12市町村の教育委員会が行う「ふるさとに根ざした魅力ある学校づくり」を支援
〔実施例 少人数教育教員研修会〕

プラス1・・・小・中・高と大学のコラボ（地域・校種を超えて）

- (1) 義務教育課事業、SSS（スーパーサイエンススクール対象校）への支援
→ 講師、企業等の紹介、防災教育等

- (2) 復興知の人材育成事業の一環として、連携市町村の小・中・高へ
→ 出前授業等

〔実施例〕 ドローン×プログラミング講座 芦沢小×慶應義塾大
放課後理科教室 広野小×福島高専
再エネ出前授業・ワークショップ 平三中×東京大
防災・災害教育 西田学園義務教育学校×日大工学部
出前講座 原町高×福大

→ 来年度さらに強化
できれば、中通り、会津へもウイングを広げたい